

## 訪問リハビリテーション研究 (Journal of Home-visit Rehabilitation Research) 投稿・執筆規定

『訪問リハビリテーション研究』は、日本訪問リハビリテーション協会の学術誌として、訪問リハビリテーション領域における研究報告の場とし、「原著論文」「症例報告」「実践報告」「短報」の投稿を受けつけます。

### 1. 投稿資格

日本訪問リハビリテーション協会会員の有無を問わず、訪問リハビリテーションの発展に寄与する投稿を受けつけます。

※日本訪問リハビリテーション協会会員とは、投稿および掲載時点で年会費納入を済ませている者とし、それ以外の者は非会員とみなします。

### 2. 投稿手続き

1) 投稿の際には、「原著」「症例報告」「実践報告」「短報」の別を明記してください。

2) 独立した2名が査読し、編集委員会で採択・修正後再査読・不採択を決定したのちに、投稿者に査読結果を通知します。修正を求められた場合は2ヵ月以内に修正原稿を再提出してください。提出期限を超過した場合は新規投稿論文として取り扱います。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがあります。

3) 投稿原稿は、採否にかかわらず返却しません。

4) すでに他誌に発表された論文、または投稿中の論文の投稿を禁止します。

5) 掲載用のフォーマットについては、掲載決定後にあらためて通知します。

### 3. 論文の種類と長さ

以下、原稿枚数は本文400字詰めで1枚とし、図(写真)・表は1点を1~2枚(大きさによる)に換算します。

1) 原著論文: 調査や実験、文献レビューなどから得られた独創的で新規性のある知見を含む結果の考察・記述がある論文を原著論文と定義します。

原則として、「背景(はじめに)」「目的」「方法」「結果」「考察」「結語」の構成に区分して記載をしてください。

原稿枚数は参考文献を含め20枚以内(表紙と要旨除く)とします。

2) 実践報告: 特色のある訪問リハビリテーション実践および地域での取り組みに関する報告を主とする論文を実践報告と定義します。

実践の紹介にとどまるのではなく、かならず実践に対する考察又は展望を盛り込んでください。

原則として、「背景(はじめに)」「目的」「方法」「経過・結果」「考察」「結論」の構成に区分して記載をしてください。

原稿枚数は参考文献を含め15枚以内(表紙と要旨除く)とします。

3) 症例報告: 臨床での意義ある個別症例に基づき、評価・目標・プログラム・経過が明確で十分に考察されている論文を症例報告と定義します。

原則として、「はじめに」「症例紹介」「評価」「目標と支援計画」「経過・結果」「考察」「結語」の構成に区分して記載をしてください。

原稿枚数は参考文献を含め15枚以内(表紙と要旨除く)とします。

4) 短報: 独創的または新規性のある知見の速やかな発表を期待するパイロット研究報告を目的とした論文

を短報と定義します。

原則として、「背景（はじめに）」「目的」「方法」「結果」「考察」「結語」の構成に区分して記載をしてください。

原稿枚数は参考文献を含め 15 枚以内（表紙と要旨除く）とします。

#### 4. 倫理規定

- 1) 著者は、著作者や対象者の人権の尊重に努め、世界医師会によるヘルシンキ宣言に基づき、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月文部科学省、厚生労働省、経済産業省：令和 4 年 3 月改正）（URL：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>）に準拠し作成してください。
- 2) 研究倫理委員会等の承認を受けて当該研究を行った場合は、投稿時に承認を得た研究倫理委員会等を設置する機関と承認番号等を記載し投稿してください。
- 3) 症例報告の場合、必ず当事者から書面で同意を得てください。本文にその旨を記載してください。
- 4) 利益相反については、日本訪問リハビリテーション協会における利益相反（Conflict of Interest: COI）の開示に関する基準（URL：<http://www.houmonreha.org/rieki/>）に準拠してください。

#### 5. 原稿執筆要綱

- 1) 投稿方法は、「9. 投稿方法」をご参照ください。
- 2) 原稿用紙を用いない場合は、横書きで A4 用紙 1 枚に 400 字（20 字×20 行）で印字してください。
- 2) 原稿には、必ず表紙をつけてください。  
表紙は、①論文種別、②表題、③執筆者名、④所属施設名、⑤連絡著者の連絡先を和文で記載してください。
- 3) 原稿の 2 枚目に、和文で 250 字程度の要旨（構造化抄録；目的・方法・結果・考察・結論等を項目立てて記載）とキーワードを 3 語挙げ記載してください。
- 4) 外国語名（地名、人名、評価名など）は、原則として原語を用い、略語はカッコ内にフルスペルで記載してください。
- 5) 図・表・写真等はすべてに表題をつけ、鮮明でそのまま印刷できるものをご準備ください。
  - ①図には、説明文をつけてください。
  - ②表には、縦線を入れないでください。
  - ③写真を用いる場合は、対象者が特定されないように配慮してください。
  - ④図・表・写真等は、1 枚ずつ別に貼付し、必ず本文中に挿入位置を明示してください。
  - ⑤引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記してください。
- 6) 利益相反の有無について、文末（引用文献の前）に記載してください。また、利益相反が「有」の場合は、その内容を記載してください。
- 7) 引用文献は右上に番号を付し、原稿の最後に番号順に書誌情報を記載してください。  
著者名は 3 名までとし、それ以上の共著者は他（英文の場合は et al.）と略し記載してください。  
外国雑誌名は、フルネームで記載してください。

[雑誌]

執筆者名：論文名（一サブタイトル）、雑誌名 巻数：通巻頁数（初-終）、発行年

1) 加藤太一, 豊吉のぞみ, 小野雅之, 他: 左半側空間無視を呈した症例に対する生活環境を利用したアプローチの効果. 日本訪問リハ機関誌 4(2): 22-28, 2016

2) Ohura T, Hase K, Nakajima Y, Nakayama T: Validity and reliability of a performance evaluation tool based on the modified Barthel Index for stroke patients. BMC MEDICAL RESEARCH METHODOLOGY 17: 131, 2017.

[書籍]

執筆者名：論文名．編者名：書名．頁（初-終），発行所，発行地（外国の場合のみ記入），発行年

1) 大塚英樹，土井勝幸：地域包括ケアにおける訪問リハビリテーションの位置づけと可能性．日本訪問リハビリテーション協会（編）：[新版] 訪問リハビリテーション実践テキスト．p. 14-19，青海社，2000.

## 8) 著者校正

掲載が決定した後、掲載用の原稿体裁にて再提出していただきます。その後、編集委員会で校正した後の最終校正は、著者の責任で初稿のみとします。

## 6. 掲載誌および別刷

協会ホームページにPDFにて公開し、別刷の配布はしません。

## 7. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は日本訪問リハビリテーション協会に帰属します。

## 8. 掲載料

会 員：投稿時の規定枚数までは10,000円、超過1枚につき5000円

非会員：投稿時の規定枚数までは30,000円、超過1枚につき5000円

## 9. 投稿方法

論文投稿申込書（1部）・利益相反申告書（著者全員分）とともに、原稿はすべてPDF形式に変換し、個人のE-mailアドレスにて編集委員会まで添付し送付してください。

①投稿用ファイル：表紙（論文種別、題名、著者名、所属名、連絡先を記す）、要旨・キーワード、本文、図・表をすべてまとめて1つのファイルに集約する

再投稿の際は、修正箇所が査読者に伝わるようにフォントを赤字にするか下線を付す

②査読用ファイル：表紙の著者名や所属名・連絡先、本文の研究倫理審査承認機関名などを削除し、匿名化して1つのファイルに集約する

再投稿の際は、修正箇所が査読者に伝わるようにフォントを赤字にするか下線を付す

③修正対応表（再投稿時）：査読作業を円滑にすすめるために、査読者からのすべてのコメントに著者の回答を記し、本文中の修正箇所を明記する（ページ・行）

ご不明な点は、編集委員会にご連絡ください。

## 10. 原稿送付先

日本訪問リハビリテーション協会学術誌『訪問リハビリテーション研究』編集委員会

メールアドレス：homevisitreha.res@gmail.com

2022年2月1日

Ver. 2.0 2023年6月1日